



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊嶋哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	315,433	11.1	24,173	51.2	27,369	37.4	20,131	△3.7
2024年3月期第3四半期	283,806	△3.5	15,986	△42.6	19,912	△35.9	20,908	14.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 16,505百万円(△43.8%) 2024年3月期第3四半期 29,390百万円(△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	96.74	96.70
2024年3月期第3四半期	98.95	98.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	538,583	349,000	64.7
2024年3月期	532,254	363,729	68.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 348,231百万円 2024年3月期 362,380百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	20.00	ー	25.00	45.00
2025年3月期	ー	35.00	ー		
2025年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	417,000	9.1	26,500	29.3	30,000	11.5	23,500	△24.4	114.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更: 有

新規 1社 (社名) 東材(広州)国際貿易有限公司、除外 1社 (社名) ZSエラストマー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有

② ①以外の会計方針の変更: 無

③ 会計上の見積りの変更: 無

④ 修正再表示: 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	229,513,656株	2024年3月期	229,513,656株
2025年3月期3Q	31,826,584株	2024年3月期	18,198,165株
2025年3月期3Q	208,086,276株	2024年3月期3Q	211,293,242株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 当社は、「株式給付信託(BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経営環境を振り返りますと、国内経済・海外経済ともに緩やかな回復の動きがみられる一方、欧米における高い金利水準の継続による景気下振れリスクや為替を含む金融資本市場の変動等の懸念はなお拭えず、また、物価の上昇や中国経済の足踏み、中東地域をめぐる情勢の影響も依然続くなど、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,154億33百万円となり、前年同期間に比べて316億27百万円の増収となりました。また、営業利益は241億73百万円と前年同期間に比べて81億87百万円の増益、経常利益は273億69百万円と前年同期間に比べて74億57百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は201億31百万円と前年同期間に比べて7億77百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内主要工場の定期検査による減産の影響を受けたものの、為替影響および原料価格高騰分の価格改定の進捗により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

合成ラテックス関連では、国内主要工場の定期検査による手袋向けラテックス減産の影響を受けたものの、為替影響および原料価格高騰分の価格改定の進捗により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

化成品関連では、粘着テープ・ラベル向けの需要回復や積極的な拡販政策により出荷量が増加したことに加え、為替影響や出荷量増に伴う固定費単価の改善効果により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて187億75百万円増加し1,784億57百万円、営業利益は前年同期間に比べて27億96百万円増加し89億61百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信の重要な後発事象に記載のとおり、当社水島工場における合計4つの生産系列中、1生産系列に不具合が発生したため、その不具合解消を目的として当該生産系列の稼働を2024年10月より停止しましたが、2024年12月より通常生産に戻っております。これにより、稼働停止期間中の固定費、設備復旧費用などが発生したものの、光学用途向け・半導体容器向けシクロオレフィンポリマーおよび大型テレビ向け光学フィルムの需要が堅調に推移したことに加え、モバイル端末向け光学フィルムの需要回復により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

電池材料関連では、民生・ESS用途向けの需要が堅調に推移し、出荷量が増加したことにより、売上高は前年同期間並みとなりました。一方、欧州でのEV販売不振による在庫調整と中国市場における電池材料の市況価格下落により、営業利益は前年同期間を下回りました。

化学品関連では、半導体製造工程で使用される特殊溶剤の需要が堅調に推移しましたが、合成香料の需給緩和による数量減、市況価格下落の影響を受けたこと等から、売上高は前年同期間並み、営業利益は前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体市況の緩やかな回復により、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

トナー関連では、プリンタ市場が堅調に推移した結果、売上高は前年同期間を上回りましたが、原料価格の高騰等が影響し、営業利益は前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて110億52百万円増加し901億25百万円、営業利益は前年同期間に比べて42億96百万円増加し144億88百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて21億58百万円増加し507億44百万円、営業利益は前年同期間に比べて1億97百万円増加し29億37百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて63億28百万円増加し5,385億83百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、商品及び製品の増加等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて210億58百万円増加し1,895億83百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、コマーシャル・ペーパーの増加等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて147億30百万円減少し3,490億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2025年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,784	30,587
受取手形及び売掛金	83,349	86,662
電子記録債権	4,097	5,783
商品及び製品	92,410	102,482
仕掛品	9,302	8,005
原材料及び貯蔵品	21,641	22,641
未収入金	39,727	38,847
その他	7,786	14,280
貸倒引当金	△113	△109
流動資産合計	300,982	309,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,247	44,655
機械装置及び運搬具（純額）	39,379	36,202
土地	15,841	16,402
建設仮勘定	25,029	34,575
その他（純額）	5,176	5,093
有形固定資産合計	130,672	136,927
無形固定資産		
その他	5,432	5,544
無形固定資産合計	5,432	5,544
投資その他の資産		
投資有価証券	85,316	75,469
繰延税金資産	2,220	4,533
その他	9,214	9,049
貸倒引当金	△1,582	△2,117
投資その他の資産合計	95,168	86,934
固定資産合計	231,272	229,405
資産合計	532,254	538,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,449	78,350
電子記録債務	3,305	3,428
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	—	28,000
未払法人税等	7,239	1,624
賞与引当金	2,764	799
修繕引当金	4,098	6,086
その他の引当金	184	89
その他	33,560	39,816
流動負債合計	143,561	167,152
固定負債		
繰延税金負債	2,025	1,132
退職給付に係る負債	14,160	14,307
修繕引当金	2,332	312
その他の引当金	195	355
その他	6,254	6,326
固定負債合計	24,965	22,432
負債合計	168,525	189,583
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,582	19,573
利益剰余金	289,930	298,689
自己株式	△19,435	△38,572
株主資本合計	314,288	303,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,502	25,255
繰延ヘッジ損益	7	8
為替換算調整勘定	17,576	19,002
退職給付に係る調整累計額	6	65
その他の包括利益累計額合計	48,092	44,330
新株予約権	88	88
非支配株主持分	1,262	681
純資産合計	363,729	349,000
負債純資産合計	532,254	538,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	283,806	315,433
売上原価	207,081	225,129
売上総利益	76,725	90,304
販売費及び一般管理費	60,739	66,131
営業利益	15,986	24,173
営業外収益		
受取利息	184	215
受取配当金	2,418	2,206
為替差益	2,129	1,307
持分法による投資利益	80	59
雑収入	278	967
営業外収益合計	5,090	4,754
営業外費用		
支払利息	50	109
休止固定資産減価償却費	559	320
投資事業組合運用損	348	66
貸倒引当金繰入額	—	535
寄付金	14	328
雑損失	194	200
営業外費用合計	1,164	1,558
経常利益	19,912	27,369
特別利益		
固定資産売却益	8	35
投資有価証券売却益	11,036	5,352
特別利益合計	11,044	5,387
特別損失		
固定資産処分損	503	649
減損損失	1,575	3,876
投資有価証券評価損	4	944
その他	158	189
特別損失合計	2,240	5,658
税金等調整前四半期純利益	28,716	27,097
法人税等	7,880	6,834
四半期純利益	20,836	20,263
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△72	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,908	20,131

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	20,836	20,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	△5,247
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	8,024	1,237
退職給付に係る調整額	124	59
持分法適用会社に対する持分相当額	180	192
その他の包括利益合計	8,555	△3,758
四半期包括利益	29,390	16,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,318	16,358
非支配株主に係る四半期包括利益	73	146

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計基準の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)および流動負債(その他)として繰り延べております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	156,737	79,044	235,781	48,024	283,806	—	283,806
外部顧客への売上 高	156,737	79,044	235,781	48,024	283,806	—	283,806
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,945	29	2,974	561	3,535	△3,535	—
計	159,682	79,073	238,755	48,585	287,341	△3,535	283,806
セグメント利益	6,164	10,192	16,356	2,740	19,096	△3,110	15,986

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,110百万円は、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,135百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」1,149百万円、「高機能材料事業」124百万円、「全社資産」302百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	175,269	90,074	265,343	50,090	315,433	—	315,433
外部顧客への売上 高	175,269	90,074	265,343	50,090	315,433	—	315,433
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	3,188	51	3,239	654	3,893	△3,893	—
計	178,457	90,125	268,582	50,744	319,326	△3,893	315,433
セグメント利益	8,961	14,488	23,448	2,937	26,386	△2,213	24,173

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,213百万円は、セグメント間取引消去△96百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,117百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」3,383百万円、「高機能材料事業」349百万円、「全社資産」144百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	14,154百万円	14,210百万円